

☆ 生命の星・地球博物館

6月10日(金)梅雨の中休みの好天に恵まれ、明るい太陽のもと総勢 24 名の参加者で小田原市の「生命の星・地球博物館」を訪問した。箱根登山鉄道の入生田駅より3分程のところにある同施設の大きさに参加者一同感嘆、11時30分頃入館(65歳以上は100円で入館出来るのは嬉しい)。エントランスに展示されている巨大なアラスカヒグマにまず驚かされる。同施設は、「生命の星・地球」のもとに、46億年にわたる地球の壮大な歴史や生命の多様性、自然と人間のかかわり、神奈川の自然などをテーマとして1995年3月に開館した神奈川県立の施設です。



施設内のレストラン、及び庭園で昼食後、番外で常設のシアターで上映されている「インタラクティブクイズ・怪人ネイチャーランドの挑戦」を、小学生の団体と共に鑑賞 子供に帰ってクイズの正解を喜んだ。その後予定していた約30分のガイダンスを受けてから自由見学を実施しました。



3階まで吹き抜けの大きな空間の展示場と1階、3階の展示室があります。1階は、「地球を考える」展示室、地球ができた過程や地球内部の仕組み、地球環境が変わってきた様子などが紹介され、巨大な岩石や隕石、貴重な鉱物資源が展示されている。また「生命を考える」展示室には、地球上のさまざまな環境に進出した生命や進化の過程が紹介され、巨大恐竜の骨格標本や希少動物、昆虫標本、植物が展示されている。3階には「神奈川を考える」展示室があり、神奈川の大地の生き立ちと、生物や自然の現状について展示されている。1時間半ほどの見学であったが我々の住む地球を知る良い機会であり、素晴らしい学習ができたと思います。



午後3時過ぎに記念撮影後現地解散し、その後有志13名で小田原駅地下の「魚国」で懇親会を開催。いつものようにイベントの感想や日ごろの話題、新鮮な魚介類の盛り合わせなどで、おいに飲み食い語りを満喫し、次回の再会を約して散会しました。

文章 石川 義明

写真 橋本 良三、富山 友次

編集 富山 友次